



1 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。令和7年12月に公表した「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」の概要は、次の通り（表1～3。詳細は2026年2月号参照）。

令和7砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：178万6000トン（前年度比0.1%増）

総供給量：178万3000トン（同1.7%減）

【加糖調製品】

消費量および供給量：35万2000トン（同3.0%減）

【異性化糖】

消費量および供給量：78万トン（同1.8%増）

表1 令和7砂糖年度における砂糖の需給見通し

（単位：千トン）

		令和6砂糖年度 (実績)	令和7砂糖年度				合計	
			10月～12月 (実績見込み)	1月～3月 (見通し)	4月～6月 (見通し)	7月～9月 (見通し)		
消費量	分蜜糖	1,747	459.7	401.9	446.4	442.0	1,750	
	含蜜糖	39	7.6	10.5	10.0	8.1	36	
	合計	1,785	467.3	412.4	456.4	450.1	1,786	
供給量	国内産糖	分蜜糖	683	324.3	267.9	37.4	-	630
		含蜜糖	11	1.1	6.7	0.7	-	8
		小計	694	325.4	274.6	38.1	-	638
	輸入糖	分蜜糖	1,114	294.6	173.3	331.9	338.4	1,138
		含蜜糖	7	1.3	2.4	1.9	0.8	6
		小計	1,120	295.9	175.7	333.8	339.2	1,145
	合計	分蜜糖	1,797	618.9	441.2	369.3	338.4	1,768
		含蜜糖	17	2.4	9.1	2.6	0.8	15
		小計	1,814	621.3	450.4	371.8	339.2	1,783
	期末在庫		334	467.1	505.1	420.6	309.7	310

資料：農林水産省「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注1：分蜜糖は精糖ベースの数量、含蜜糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分蜜糖供給量は、機構売買数量である。

表2 令和7砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

（単位：千トン）

	令和6砂糖年度 (実績)	令和7砂糖年度				合計
		10月～12月 (実績見込み)	1月～3月 (見通し)	4月～6月 (見通し)	7月～9月 (見通し)	
消費量	363	87.9	87.7	83.7	92.3	352
供給量	363	87.9	87.7	83.7	92.3	352

資料：農林水産省「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注1：改正糖価調整法（平成30年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：令和7砂糖年度の消費量は、令和6砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表3 令和7砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	令和6砂糖年度 (実績)	令和7砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	766	168.7	174.9	222.9	213.0	780
供給量	766	168.7	174.9	222.9	213.0	780

資料：農林水産省「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2 輸入動向

【粗糖の輸入動向】

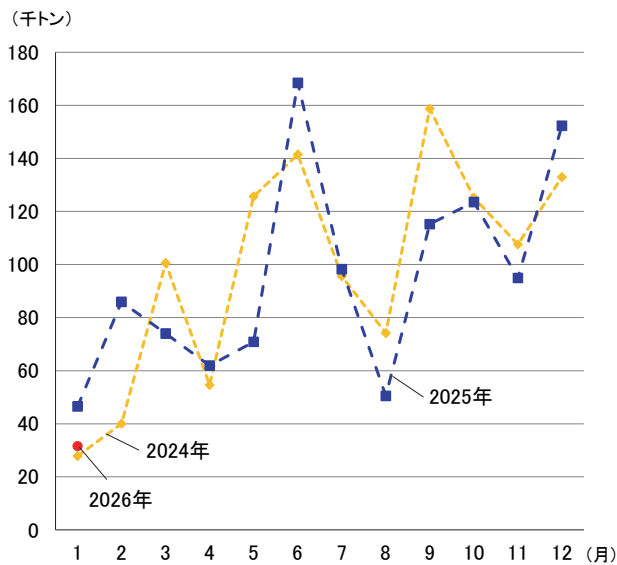
1月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2026年1月の甘しや糖・分蜜糖（HSコード 1701.14-110）および甘しや糖・その他（同1701.14-200の豪州、以下同じ）の輸入量は、3万1575トン（前年同月比32.1%減、前月比79.3%減）であった（図1）。

輸入先については、甘しや糖・分蜜糖は輸入実績が無く、甘しや糖・その他は豪州で、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図2）。

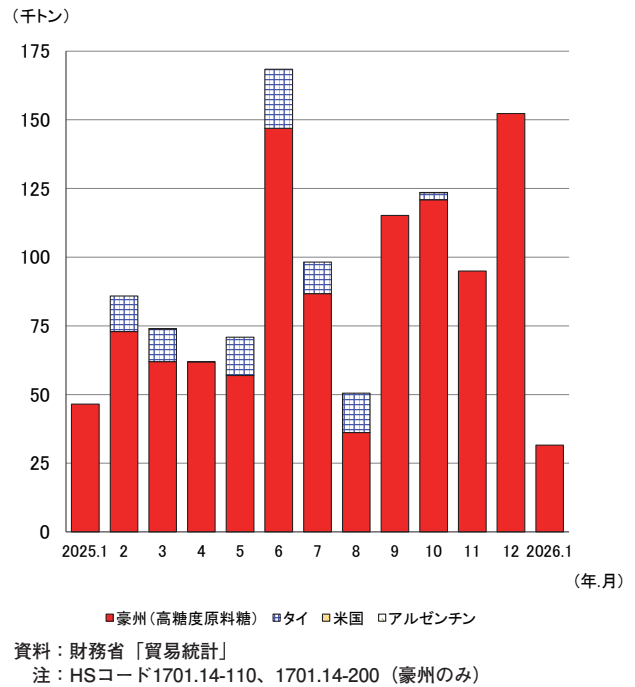
豪州 3万1575トン
（前年同月比32.1%減、前月比79.3%減）

図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

図2 粗糖の国・地域別輸入量の推移



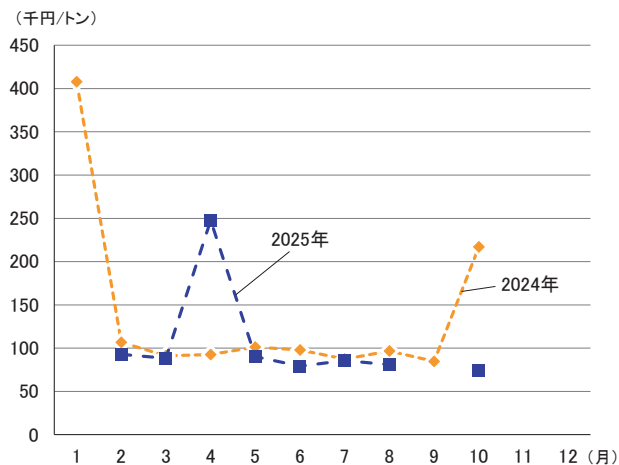
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

2026年1月における1トン当たりの輸入価格は、甘しや糖・分蜜糖は輸入実績が無く（図3）、甘しや糖・その他は、6万3637円（前年同月比27.3%安、前月比5.5%安）であった（図4）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

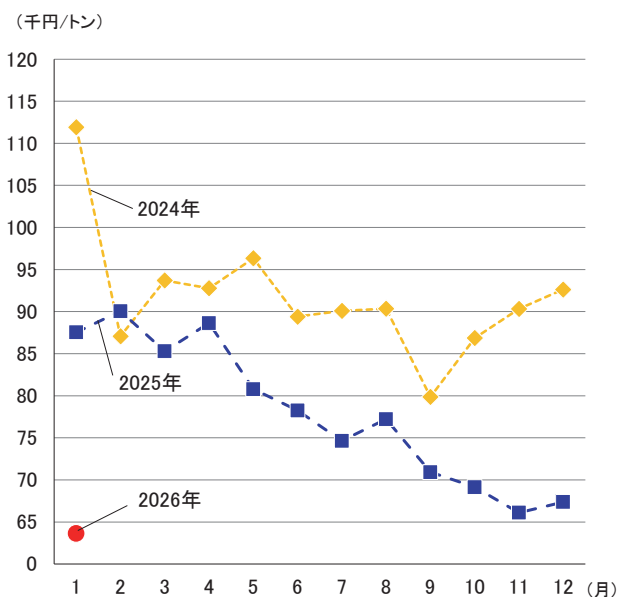
豪州 6万3637円
（前年同月比27.3%安、前月比5.5%安）

図3 粗糖（HSコード1701.14-110）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：2024年11月、12月、2025年1月、9月、11月、12月および2026年1月は輸入実績なし。

図4 高糖度原料糖（HSコード1701.14-200の豪州）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

【含蜜糖の輸入動向】

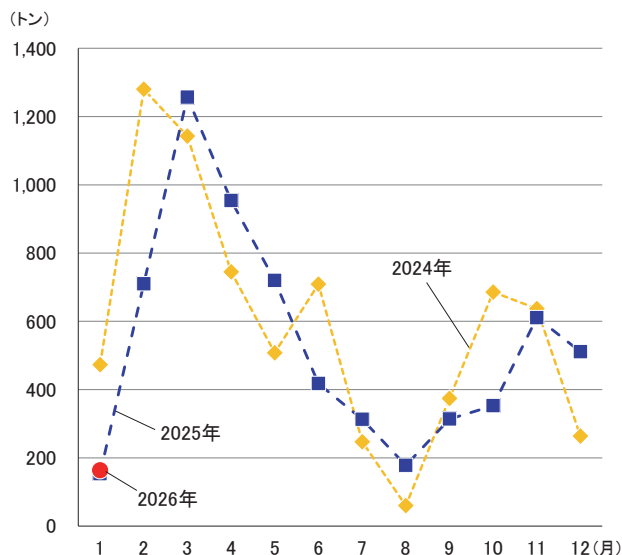
1月の輸入量は前年同月からかなりの程度増加

財務省「貿易統計」によると、2026年1月の含蜜糖（HSコード1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、164トン（前年同月比6.5%増、前月比67.9%減）であった（図5）。

輸入先はブラジル、ポリビア、フィリピンおよびインドで、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図6）。

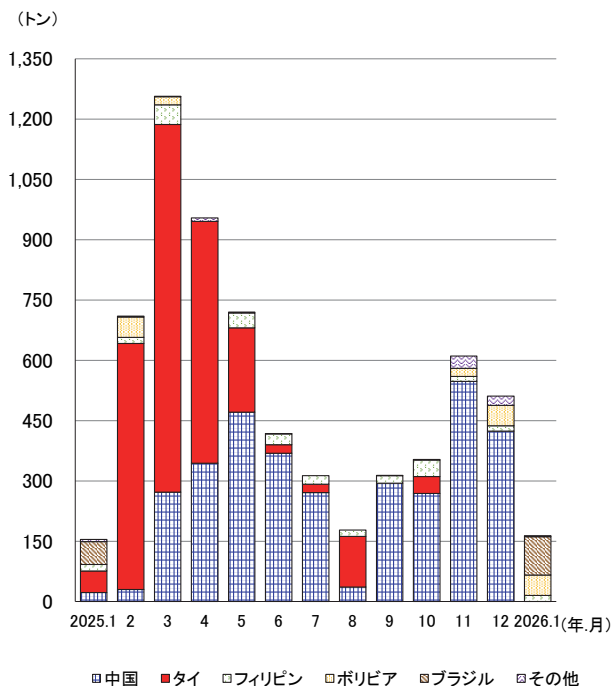
ブラジル	95トン
（前年同月比66.7%増、前月輸入実績なし）	
ポリビア	51トン
（前年同月輸入実績なし、前月同）	
フィリピン	15トン
（前年同月比6.3%減、前月比15.4%増）	
インド	3トン
（同40.0%減、同3.0倍）	

図5 含蜜糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図6 含蜜糖の国・地域別輸入量の推移



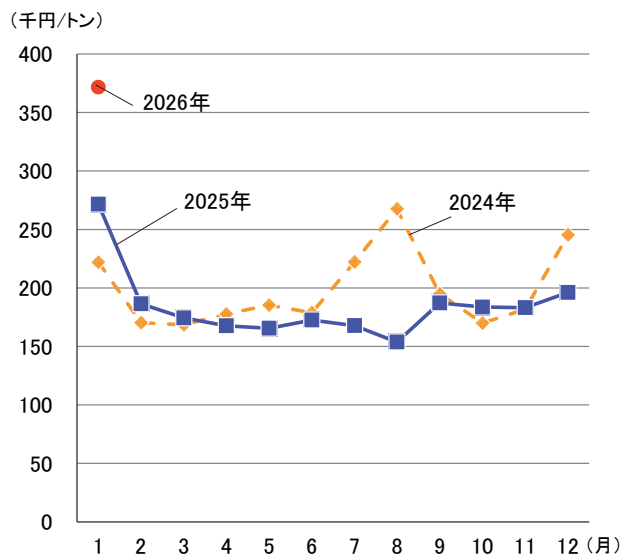
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2026年1月の1トン当たりの輸入価格は、37万1616円（前年同月比36.9%高、前月比89.5%高）であった（図7）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

ブラジル	45万6937円
	（前年同月比15.5%高、前月輸入実績なし）
ボリビア	19万9706円
	（前年同月輸入実績なし、前月比3.7%安）
フィリピン	42万6067円
	（前年同月比89.2%高、同19.9%高）
インド	32万円
	（同9.5%安、同52.9%安）

図7 含蜜糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

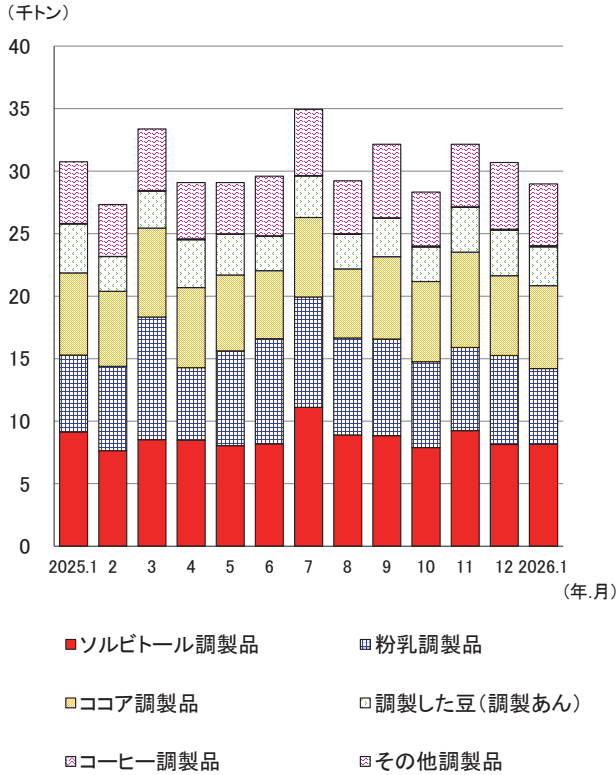
【加糖調製品の輸入動向】

1月の加糖調製品の輸入量は前年同月からやや減少

財務省「貿易統計」によると、2026年1月の加糖調製品の輸入量は、2万8981トン（前年同月比5.7%減、前月比5.6%減）であった（図8）。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図8 加糖調製品の品目別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは、次の通り。

ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213
 コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246
 調製した豆(加糖あん)：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199
 ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-284
 ソルビトール調製品：2106.90-510
 その他調製品：2008.99-269、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品 品目別輸入量(1月)

(単位：トン)

区分	輸入量	前年同月比 (増減比)	前月比 (増減比)
ミルク調製品	6,052	▲ 1.8%	▲ 15.0%
ソルビトール調製品	8,155	▲ 10.8%	0.1%
ココア調製品	6,634	1.2%	4.1%
調製した豆(加糖あん)	3,099	▲ 21.0%	▲ 14.8%
コーヒー調製品	84	97.9%	0.9%
その他調製品	4,956	0.6%	▲ 7.1%
合計	28,981	▲ 5.7%	▲ 5.6%

資料：財務省「貿易統計」

注：端数処理の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 異性化糖の移出動向

2月の移出量は前年同月からわずかに減少

2026年2月の異性化糖の移出量は、5万7099トン(前年同月比0.7%減、前月比1.3%増)であった(図9)。

同月の種類別の移出量は、次の通りであった(図10)。

果糖含有率40%未満 382トン

(前年同月比35.8%増、前月比3.2%増)

同40%以上50%未満 1万5209トン

(同3.5%減、同3.1%増)

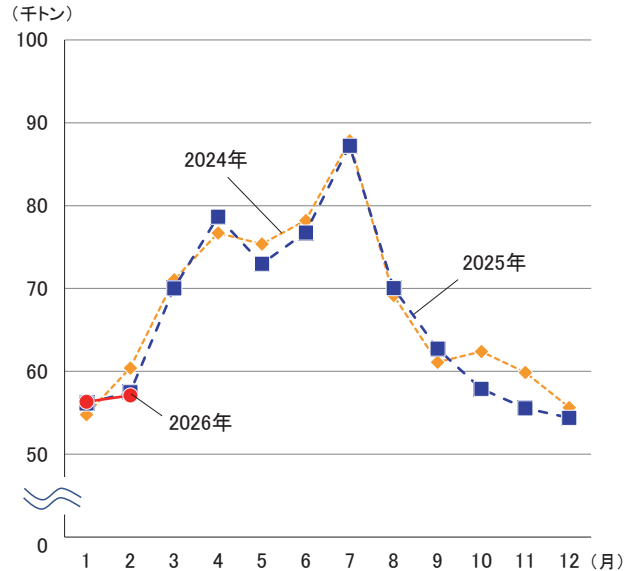
同50%以上60%未満 4万1044トン

(同0.3%増、同0.8%増)

同60%以上 464トン

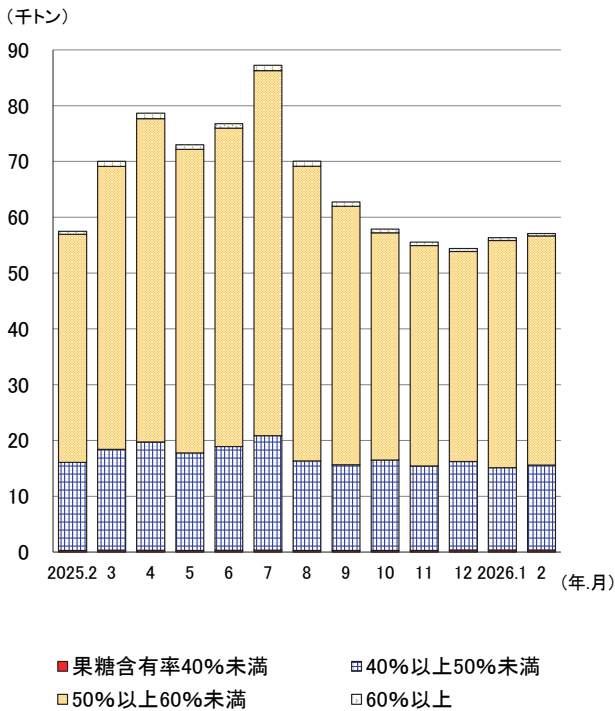
(同12.7%減、同11.4%減)

図9 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図10 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

4 価格動向

【市場価格】

異性化糖は5円程度値上がり

2月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は、次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京 1キログラム当たり241～243円

大阪 同241～243円

名古屋 同244円

関門 同246円

上白糖（小袋）

東京 1キログラム当たり261～265円

大阪 同264～265円

本グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり246～248円

大阪 同246～248円

名古屋 同249円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり244～246円

大阪 同244～246円

名古屋 同245円

2月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり166～172円

果糖分55%もの

同172～178円

【小売価格】

2月の上白糖小袋の平均小売価格は268.5円

マーチャンダイジング・オンRDSPOS（〈全国3800店舗〉、以下同じ）によると、スーパーにおける2月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、268.5円（前年同月差0.2円高、前月差0.5円安）であった。最も高かったのは北海道で、最も安かったのは関東などであった。

同月の地域別^(注)の平均小売価格は、次の通りであった（表5）。

(注) 地域の内訳は、次の通りである（以下同じ）。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表5 上白糖の地域別平均小売価格（2月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前月価格差	前年同月価格差
北海道	321.0	1.8	31.7
東北	281.4	▲ 2.9	▲ 1.7
関東など	250.3	0.9	▲ 6.4
首都圏	262.8	0.1	▲ 3.4
中部	269.4	▲ 4.2	1.3
関西	260.0	3.2	7.0
中国・四国	287.5	▲ 1.1	5.2
九州・沖縄	278.7	0.6	1.5

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンドライジング・オンRDS POS（全国3800店舗））

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンドライジング・オンRDSPOSデータ内における現時点の価格差である。

2月のグラニュー糖小袋の平均小売価格は330.4円

スーパーにおける2月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、330.4円（前年同月差4.7円高、前月差0.7円安）であった。最も高かったのは東北で、最も安かったのは関西であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表6）。

表6 グラニュー糖の地域別平均小売価格（2月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前月価格差	前年同月価格差
北海道	337.3	8.7	19.6
東北	356.6	▲ 0.6	▲ 1.0
関東など	321.6	0.0	▲ 0.4
首都圏	325.8	▲ 0.5	0.6
中部	347.6	▲ 7.2	▲ 2.5
関西	307.5	1.0	16.3
中国・四国	336.2	0.5	12.2
九州・沖縄	334.8	1.0	4.1

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンドライジング・オンRDS POS（全国3800店舗））

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンドライジング・オンRDSPOSデータ内における現時点の価格差である。

2月の三温糖小袋の平均小売価格は308.7円

スーパーにおける2月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、308.7円（前年同月差0.4円安、前月差0.3円高）であった。最も高かったのは北海道で、最も安かったのは首都圏であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表7）。

表7 三温糖の地域別平均小売価格（2月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前月価格差	前年同月価格差
北海道	367.5	4.6	2.0
東北	340.7	0.3	▲ 1.6
関東など	296.0	▲ 0.5	▲ 6.7
首都圏	287.5	0.2	▲ 4.9
中部	325.7	▲ 0.3	▲ 6.2
関西	297.4	1.1	12.0
中国・四国	333.7	▲ 2.0	2.5
九州・沖縄	302.3	1.7	6.4

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンドライジング・オンRDS POS（全国3800店舗））

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンドライジング・オンRDSPOSデータ内における現時点の価格差である。

【支出金額および購入数量】

1月の砂糖の支出金額は前年同月からやや上昇

総務省「家計調査」によると、2026年1月における1世帯（二人以上）当たりの支出金額は80円（前年同月比5.3%高、前月比42.0%安）であった（図11）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、228グラム（同5.1%増、同47.0%減）であった（図12）。

図11 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移

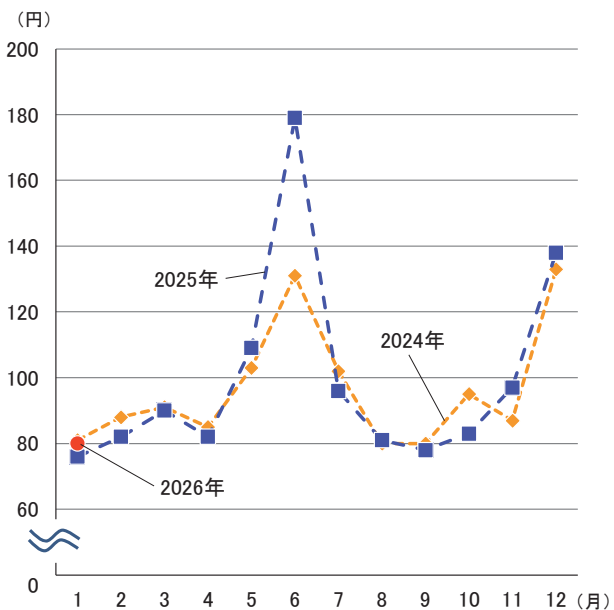


図12 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移

